

症例
ライブラリー

体幹の神経ブロックがうまくいかない

体幹の神経ブロックは、胸部・腹部手術の術後鎮痛において、脊髄麻酔の代替として普及してきた。2026年の米国麻酔科学会 (ASA) の周術期疼痛管理ガイドラインでも、開胸・開腹・後腹膜・骨盤手術や乳房手術を中心に、筋膜面ブロックを活用する流れが明確に示されており、その意義はますます高まっている。一方で、実際の臨床では、「期待したほど効かない」「創部痛は痛くないがドレーンが痛い」「カテーテル入れがうまくいかない」といった経験も少なくない。こうした背景には、体幹特有の複雑な疼痛機序、術式ごとに異なる解剖学的条件、単回投与の限界、さらに局所麻酔薬中毒や出血性合併症といった安全面の課題がかかわっている。本特集では、各領域のエキスパートが、日常診療で遭遇しやすい「うまくいかない症例」を通して、その原因と対処法を具体的に解説した。体幹ブロックをより確実に生かすには、手技だけでなく、痛みの発生源を見極め、時間経過や安全管理まで含めて鎮痛戦略を組み立てる視点が欠かせない。本特集が、日々の診療を見直す一助となれば幸いである。

東京女子医科大学 麻酔科学分野

笹川 智貴

6.9a ロダンH

3.3a ロダンB

◆まとめ：うまくいかないのはなぜ？

◆超音波ガイド下脊髄神経ブロックがうまくいかない

74歳の女性。身長158cm、体重55kg。強直性脊椎炎の既往があり、20歳から65歳の男性。身長168cm、体重99kg。BMI 70.1。膝頭部癌で膝頭十二指……

◆帰室後にブロック関連トラブルでうまくいかない

腹での腹部大動脈人工血管置換術が予定された。既往に心筋梗塞があり、アスピリンとフラズグレルによる抗血小板薬2剤併用療法 dual anti-platelet therapy……

◆体幹のブロックのカテーテル留置がうまくいかない

60歳の男性。身長174cm、体重70kg。肝細胞癌に対し開腹肝部分切除術が予定された。肝硬変に伴う凝固機能延長。プロトロンビン時間国際標準化比 (P……

◆心臓手術の末梢神経ブロックがうまくいかない

72歳の男性。身長168cm、体重70kg。高血圧、2型糖尿病、脂質異常症の既往……67歳の男性。身長156cm、体重54kg。高血圧の既往がある。右小開胸による……

◆傍脊椎ブロックがうまくいかない

68歳の男性。身長169cm、体重108kg。右上葉肺癌に対し、ロボット支援……76歳の女性。身長154cm、体重60kg。右下葉肺癌の疑いと診断され、胸腔鏡……

348

344

341

336

330

327

325

322

320

各項のキーワード

以下は掲載順ではありません。

それぞれの症例で何か起きたのか考えながら読んでください

- 超音波ガイド下脊髄神経ブロック / 強直性脊椎炎 / 脊髄くも膜下麻酔 / 胸部硬膜外麻酔
- 傍脊椎ブロック (PVB) / 筋膜面ブロック / 横突起間ブロック (ITPB) / 脊柱起立筋面ブロック / retro-SCTL space
- 筋膜面ブロック fascial plane block / 多角的疼痛管理 / 局所麻酔薬中毒 (LAST)
- 傍胸骨肋間筋膜面ブロック / 筋膜面ブロック / 持続カテーテル
- 肋骨弓下腹横筋膜面ブロック / re-MTAPA / SEDIC / 持続カテーテル鎮痛